

「令和5年度いわて新農業人チャレンジファーム第14回研修を開催しました！」

第14回の研修は、令和5年9月8日(金)、9日(土)に、南畑のコテージむらで行いました。

今回の研修では、堆肥の作り方(残渣利用)と市販の堆肥の製造工程についての講義と、実習では、こまつなのは種と栽培野菜の管理を行いました。

講義では、堆肥について、作物への養分供給のみではなく、土壌の化学性、物理性、生物性を総合的に改善して地力を向上させるといった施用効果や、堆肥を作るために必要な4要素(栄養源・温度・水分・酸素)について学びました。

さらに、残渣の堆肥化には、全体をまんべんなく発酵させるために、切り返しをすることが重要という事を学びました。

また、市販の堆肥ができるまでの製造工程について、スライドと動画で学びました。

今回の講義を受け、残渣を利用して堆肥化を

行ってみたい、と受講生からの感想がありました。

実習では、始めに、実際に研修ほ場において、残渣を利用しての堆肥化を行っている事例を見て、さらにイメージが湧いたのではないのでしょうか。

また、予定していた最後の品目となる、13品目のこまつなのは種を行いました。畦立てからは種までの流れは、ほとんどの受講生がマスターしたようでした。

栽培野菜の管理では、トマトの収穫、摘心、ピーマンの収穫、えだまめの収穫など、盛りだくさんの内容でしたが、気温も落ち着いてきたこともあり、余裕を持って終了することができました。

次回の研修は、9月16日(土)に雫石町御所公民館で、農業関係支援策等について、の講義を行う予定です。



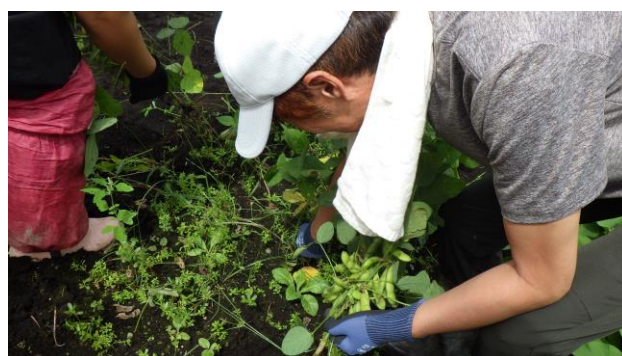
トマトの摘心作業の様子



実習野菜の生育状況について説明を受ける様子



こまつなのは種の様子



えだまめの収穫の様子